

第5章 計画の推進にむけて

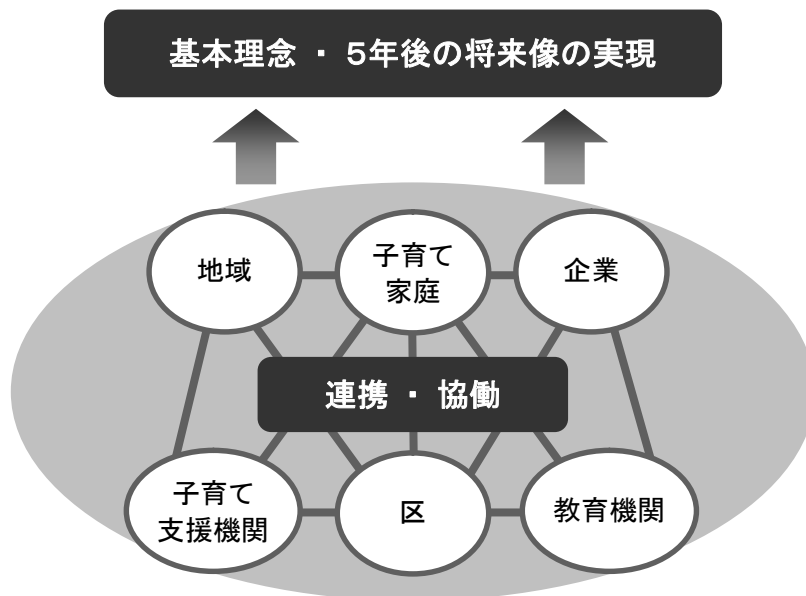


1. 連携・協働による取り組みの推進

本計画においては、基本理念及び5年後の将来像を実現するために、5つの宣言を提言しています。この5つの宣言の実行にあたっては、区のみならず、子育て家庭、地域（区民、町会・自治会、地域団体・NPO等）、企業（商店、事業所等）、関係機関（子育て支援機関、教育機関等）が、それぞれの責任や役割を果たしていくことが重要です。

墨田区においても、様々な機関・団体等が子育て・子育て支援活動を展開していますが、今後は、それぞれの取り組みのつながりをつくっていくことが課題となっています。

したがって、後期行動計画の推進にあたっては、子育て家庭、地域、企業、関係機関と区の連携・協働を重視し、相互のつながりを深める中で、ともに考え、ともに行動することにより、計画に掲げた基本理念及び将来像の実現をめざしていきます。



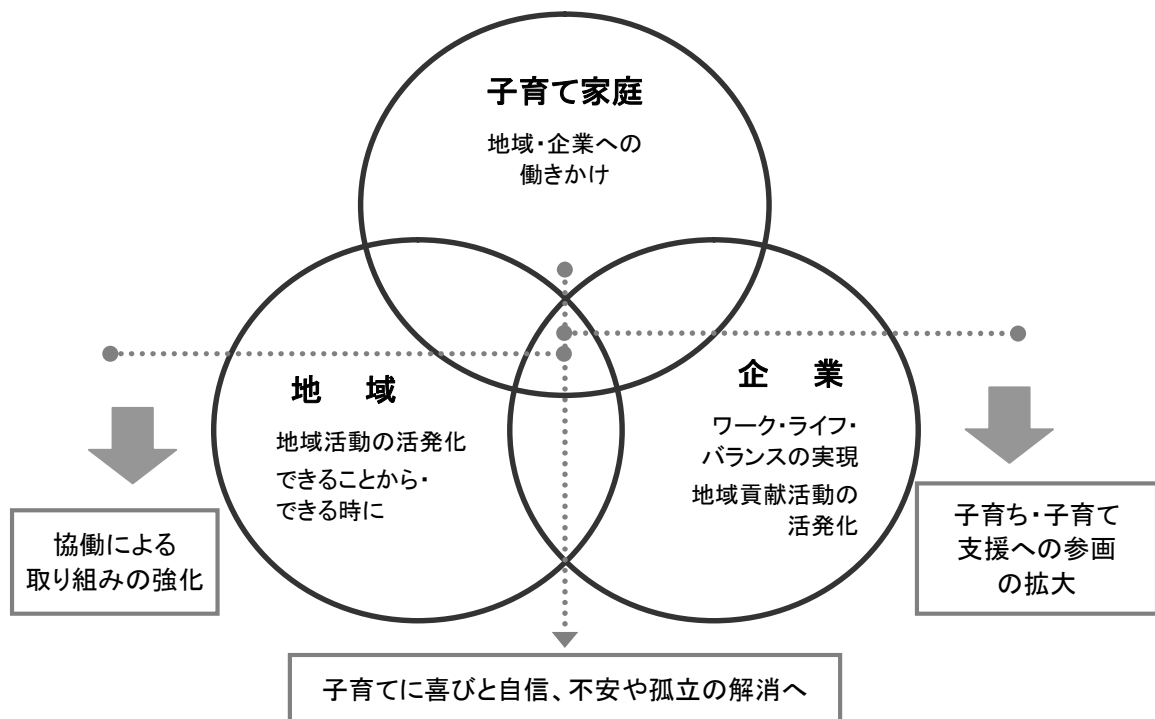
2. 地域社会の参画の視点

かつては、子育てを地域社会もいっしょになって担っていた時代がありましたが、核家族化や都市化等により、地域での助けあいの意識が希薄化しています。次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、成長することのできる地域社会を創造するためには、地域（区民、町会・自治会、地域団体・NPO等）や企業（商店、事業所等）が積極的に子どもや子育て家庭を支える活動に参画する、本来の姿を再生することが不可欠です。

地域においては、町会・自治会や地域の子育て支援・青少年育成団体、NPOやボランティア団体等が展開する様々な活動の活発化に期待します。そのため、これらの団体間の有機的な連携や協働を促進するとともに、区との協働を強化します。地域団体に所属していない区民も「できることから・できる時に」、活動に参画できる機会を拡大します。

また、これまで地域とは“距離”のあった企業においても、生徒の職業体験の受け入れや出前授業の実施など、子育て・子育て支援にかかわる地域貢献活動に積極的に参画する姿がみられ、こうした取り組みへの参画の拡大に期待します。

本計画の推進を契機に、子育て家庭、地域、企業が融合し、区と協働で取り組みながら、子育てを見守り・協力しあうすみだらしい地域社会をめざします。



3. 計画の推進体制

引き続き、墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会において、P D C Aサイクル(計画→実施→点検・評価→改善・向上)のプロセスに基づき、計画を推進します。

計画の点検・評価については、年度ごとの個別の事業の進ちよく状況に加え、5年後には、計画全体の評価として、平成26年度に達成すべき目標として掲げた「5年後の将来像」の実現状況についても評価を行い、個別事業の実施によって、「子ども」「子育て家庭」「地域(企業含む)」にどの程度の効果があったかを検証していきます。

また、連携・協働による取り組みの実効性を確保するためのしくみとして、墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会の中に「(仮称)推進分科会」を設置します。特に連携・協働による取り組みが必要な施策(テーマ)については、テーマにかかわる関係者・機関による同分科会において協議・検討を行い、具体的な取り組みにつなげていきます。

庁内においても、次世代育成を支援するための各担当部署間の連携を強化し、全庁的な体制のもとに計画の推進を図ります。

